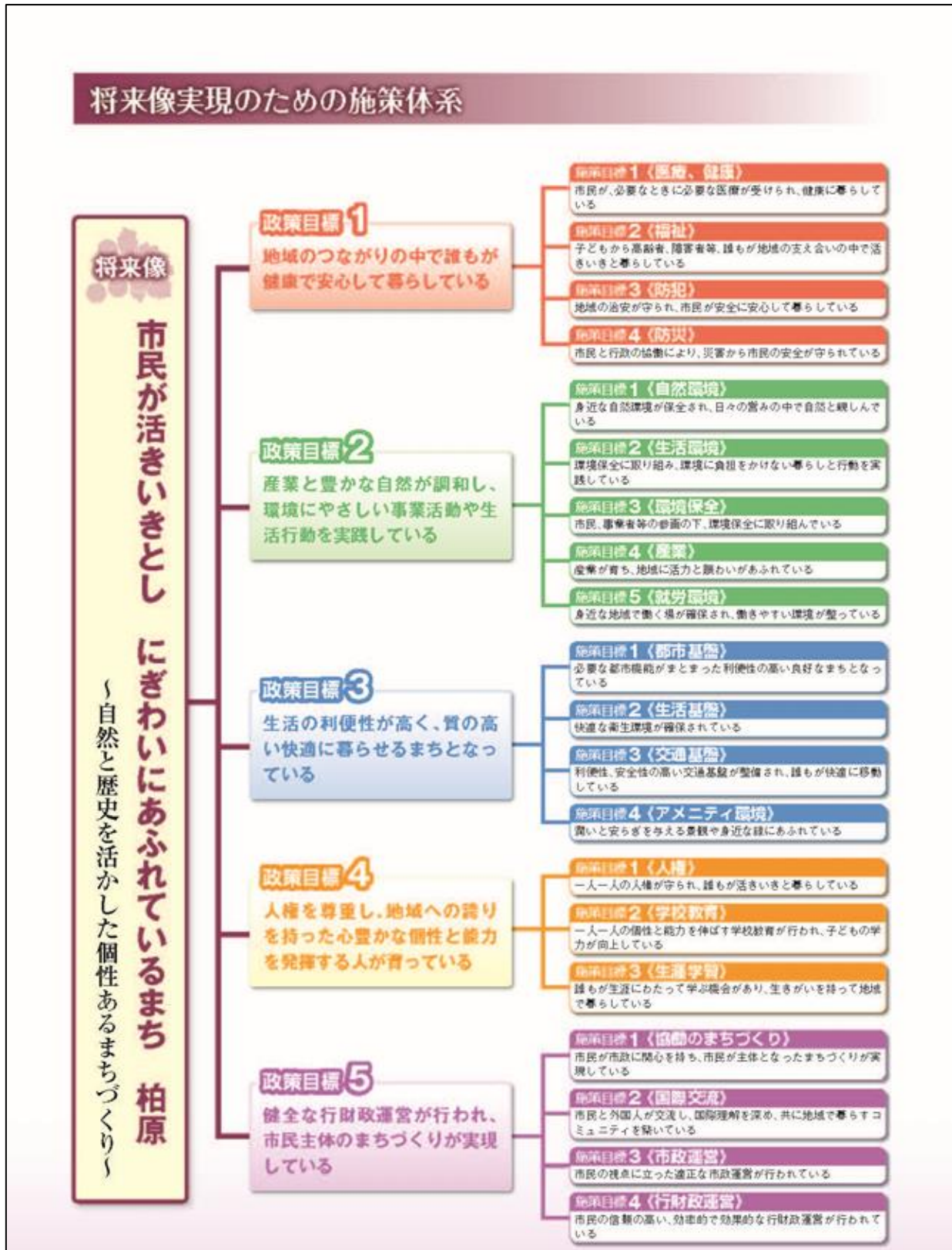


第4次柏原市総合計画 施策評価

第4次柏原市総合計画では、下図のようなまちづくり目標を掲げ、各施策を推進してまいりました。

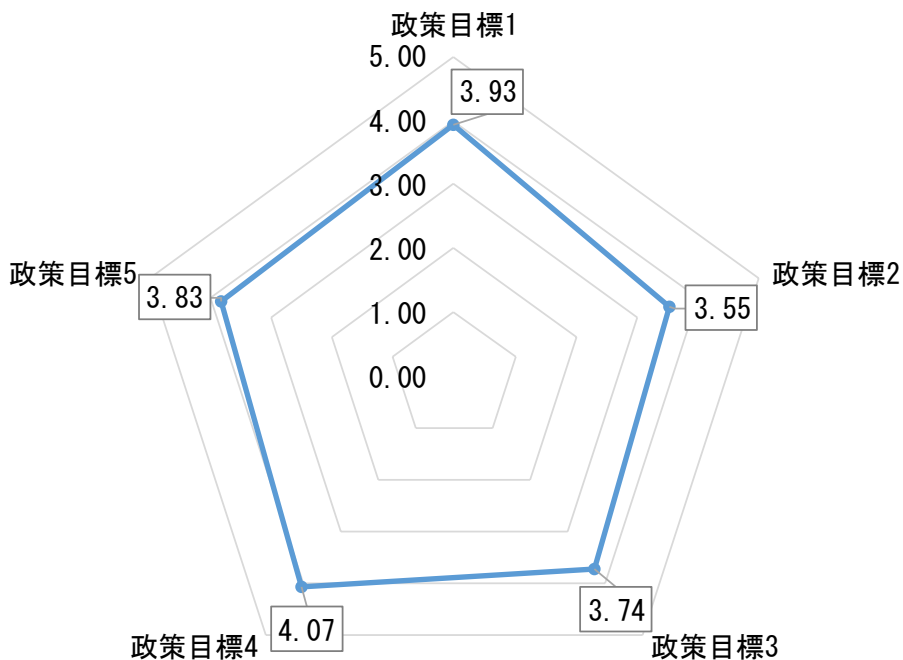


担当各課で下表のとおり5段階評価をしました。

5評価＝5点	計画どおり、あるいはそれ以上の成果を得ている
4評価＝4点	ある程度の成果を得ている
3評価＝3点	半分程度の成果しか得ていない
2評価＝2点	あまり成果を得ていない
1評価＝1点	あまり取り組んでいない

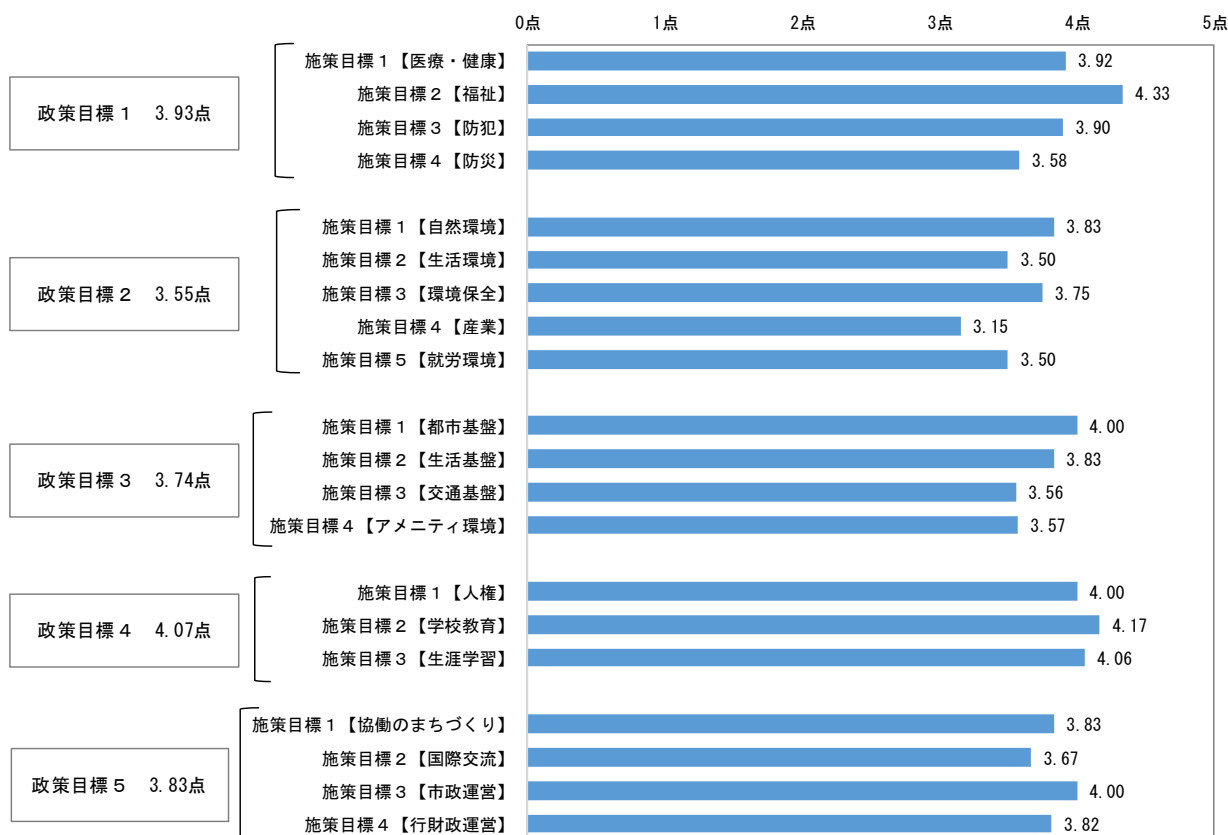
担当各課の評価を点数化し、平均点を算出したところ、全体の平均点は3.83点でした。

政策目標ごとに平均点を算出した結果は下図のとおりです。政策目標2、政策目標3については、全体平均点を下回る結果となりました。



施策目標ごとに平均点を算出した結果は下表のとおりです。政策目標1では【防災】、政策目標2と政策目標3では全施策目標、政策目標5では【市政運営】を除く施策目標で、全体平均を下回る結果となりました。

施策目標・施策目標		平均点
政策目標1	地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている	3.93
	施策目標1【医療・健康】市民が、必要なときに必要な医療が受けられ、健康に暮らしている	3.92
	施策目標2【福祉】子どもから高齢者、障害者等、誰もが地域の支え合いの中で生きいきと暮らしている	4.33
	施策目標3【防犯】地域の治安が守られ、市民が安全に安心して暮らしている	3.90
	施策目標4【防災】市民と行政の協働により、災害から市民の安全が守られている	3.58
政策目標2	産業と豊かな自然が調和し、環境にやさしい事業活動や生活行動を実践している	3.55
	施策目標1【自然環境】身近な自然環境が保全され、日々の営みの中で自然と親しんでいる	3.83
	施策目標2【生活環境】環境保全に取り組み、環境に負担をかけない暮らしと行動を実践している	3.50
	施策目標3【環境保全】市民、事業者等の参画の下、環境保全に取り組んでいる	3.75
	施策目標4【産業】産業が育ち、地域に活力と賑わいがあふれている	3.15
	施策目標5【就労環境】身近な地域で働く場が確保され、働きやすい環境が整っている	3.50
政策目標3	生活の利便性が高く、質の高い快適に暮らせるまちとなっている	3.74
	施策目標1【都市基盤】必要な都市機能がまとまった利便性の高い良好なまちとなっている	4.00
	施策目標2【生活基盤】快適な衛生環境が確保されている	3.83
	施策目標3【交通基盤】利便性、安全性の高い交通基盤が整備され、誰もが快適に移動している	3.56
	施策目標4【アメニティ環境】潤いと安らぎを与える景観や身近な緑があふれている	3.57
政策目標4	人権を尊重し、地域への誇りを持った心豊かな個性と能力を発揮する人が育っている	4.07
	施策目標1【人権】一人一人の人権が守られ、誰もが生きいきと暮らしている	4.00
	施策目標2【学校教育】一人一人の個性と能力を伸ばす学校教育が行われ、子どもの学力が向上している	4.17
	施策目標3【生涯学習】だれもが生涯にわたって学ぶ機会があり、生きがいを持って地域で暮らしている	4.06
政策目標5	健全な行財政運営が行われ、市民主体のまちづくりが実現している	3.83
	施策目標1【協働のまちづくり】市民が市政に関心を持ち、市民が主体となったまちづくりが実現している	3.83
	施策目標2【国際交流】市民と外国人が交流し、国際理解を深め、共に地域で暮らすコミュニティを築いている	3.67
	施策目標3【市政運営】市民の視点に立った適正な市政運営が行われている	4.00
	施策目標4【行財政運営】市民の信頼の高い、効率的で効果的な行財政運営が行われている	3.82
全体		3.83



政策目標1 地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている

平均点が最も高い項目は施策目標2【福祉】、最も低い項目は施策目標4【防災】となっています。

全体の平均点を下回っている施策目標3【防犯】と施策目標4【防災】の今までの取り組みや主な課題は、下記のとおりです。

施策目標3【防犯】	<ul style="list-style-type: none">●柏原警察署、柏原防犯協会等の関係機関や各種団体との連携による啓発活動及び防犯パトロール・見守り活動等に加え、自治会・町会に対して防犯灯や防犯カメラ設置への支援を行うことで、街頭における犯罪認知件数は着実に減少してきているが、昨今の犯罪の凶悪化に対する対応や防犯カメラ設置地区の偏りなど、対応すべき課題がある。
施策目標4【防災】	<ul style="list-style-type: none">●消防団員の定年制を導入することで、活性化に一定程度の効果はあったが、団員数が年々減少しており、消防団員確保に向けた取り組み、また火災予防、応急手当の普及活動などで活躍が期待できる女性消防団員の入団に向けた取り組みを進める必要がある。●地域の助け合いによる「共助」において重要となる自主防災組織の組織化については、結成率が98%を超え、一定の成果を上げることができたが、組織役員の変更や地域の事情等により活動が取組めない組織もあるため、今後は地域で活動する団体も含めた組織づくりのあり方等も検討し総合的な地域防災力の充実、強化を図る必要がある。

政策目標2 産業と豊かな自然が調和し、環境にやさしい事業活動や生活行動を実践している

平均点が最も高い項目は施策目標1【自然環境】、最も低い項目は施策目標4【産業】となっています。

全体の平均点を下回っている施策目標2【生活環境】、施策目標4【産業】、施策目標5【就労環境】の今までの取り組みや主な課題は、下記のとおりです。

施策目標2【生活環境】	<ul style="list-style-type: none">●本市においては、柏原市の公共施設から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制に努めている。当初は減少傾向を示していたが、近年は猛暑等によりエネルギーの使用量が増加している。
施策目標4【産業】	<ul style="list-style-type: none">●各商店街組織等との連携により、各地域の魅力向上のための方策を一緒に検討していく必要がある。●関係機関の協力体制により農業の生産体制の強化に対する支援を今後も引き続き実施していく必要がある。
施策目標5【就労環境】	<ul style="list-style-type: none">●人手不足により労働市場は売り手市場となっているが、高齢者や、障がいのある方など就職が困難な方の雇用機会がまだまだ不足している。

政策目標3 生活の利便性が高く、質の高い快適に暮らせるまちとなっている

平均点が最も高い項目は施策目標1【都市基盤】、最も低い項目は施策目標4【交通基盤】となっています。

全体の平均点を下回っている施策目標3【交通基盤】と施策目標4【アメニティ環境】の今までの取り組みや主な課題は、下記のとおりです。

<p>施策目標3【交通基盤】</p> <ul style="list-style-type: none">●誰もが安心して歩ける身近な生活道路において計画的な整備を進め、国や大阪府へもバリアフリー化等に対応した快適な歩行空間の整備を働きかけているが、市民意識調査の重要度は高く、満足度が低い結果となっており、重要度と満足度の乖離が大きく、早急に対応が求められている現状がある。●都市計画道路事業の推進に取り組んでおり、併せて国道や府道においても整備の推進を要望している。国道については、道路管理者である国土交通省が応急対策を実施しているが、抜本的な解決には至っておらず、市民意識調査の重要度は高く、満足度が低い結果となっており、重要度と満足度の乖離が大きく、早急に対応が求められている現状である。今後も渋滞緩和の対策を求めていく必要がある。●交通安全施設の新設・補修に関する要望は増加している。特に通学路に関しては要望が多く、「交通安全総合整備計画」を策定し計画的に整備していく。●放置自転車・違法駐車等については、啓発活動等を強化した結果、減少傾向にある。
<p>施策目標4【アメニティ環境】</p> <ul style="list-style-type: none">●公園を安全に安心して利用できるよう、また美観を保全できるように、公園内の草刈や樹木の剪定、あるいは遊具の点検、施設の補修などに取り組んでいる。また、近年の異常気象によるゲリラ豪雨や大型台風による暴風の影響により公園や緑地内の樹木被害が懸念されているため、公園や緑地の定期パトロールに加え、天候には十分注意し台風の影響による暴風雨やゲリラ豪雨が予測される場合及び大型連休等の事前・事後パトロールを強化している。●「歴史のロマンとぶどうの香るまち」として、太平寺地区において、古民家集積地、ぶどう棚の間を通る小道など、景観に調和した整備を行い、また地区住民等の参画によるまちづくり協議会の設置、運営を支援し、集客と活性化を図るため、イベント等で広域的にPRを行った。今後も景観等の整備により、地区の魅力が高まり、住民満足度の維持やまちづくりに対する気運の継続が必要。

政策目標 4 人権を尊重し、地域への誇りを持った心豊かな個性と能力を発揮する人が育っている

平均点が最も高い項目は施策目標 2【学校教育】、最も低い項目は施策目標 1【人権】となっています。

全体の平均点を下回っている施策目標 1【人権】と施策目標 3【生涯学習】の今までの取り組みや主な課題は、下記のとおりです。

<p>施策目標 1【人権】</p> <ul style="list-style-type: none">● 憲法週間や人権週間に柏原駅、国分駅にて人権啓発物品を配布するなど啓発活動を行っている。また、人権いろいろ相談等の相談事業や人権に関する講演会及び研修会を実施している。● 毎年 8 月に平和展を開催し、戦争の悲惨さや平和の尊さを市民に伝えている。● 男女共同参画社会の形成を目指して、男女共同参画センターを活動拠点に、市民団体相互の情報交換でネットワークづくりの推進を支援した。また、男女共同参画づくり講座、市民大学講座、男性のための料理教室などを催し、男女共同参画づくりの啓発に取り組んだ。
<p>施策目標 3【生涯学習】</p> <ul style="list-style-type: none">● 青少年に対する学習プログラムを大阪教育大学及び関西福祉科学大学（玉手山学園）と官学連携を図り特色のある講座を行った。● 図書館・学校・図書館ボランティアの連携を強化し、児童の読書活動推進を図るため、平成 29 年度より連絡会議を開催している。● 大阪府の恩智川多目的遊水地を利用して堅下北スポーツ広場を整備し、平成 31 年 4 月 1 日から総合グラウンドとして運用を開始し、スポーツ環境の確保を行った。● 「学校安全モニター員制度」については、条例改正のため制度を廃止した。「地域ふれあい活動」及び「子どもの安全見守り隊」によって引き続き安全を守る活動を継続している。● 鳥坂寺跡は、平成 23 年度に国の史跡に指定され、現在「保存活用計画」を策定中。河内国分寺跡は、その後調査が進んでおらず、史跡指定には至っていない。

政策目標5 健全な行財政運営が行われ、市民主体のまちづくりが実現している

平均点が最も高い項目は施策目標3【市政運営】、最も低い項目は施策目標2【国際交流】となっています。

全体の平均点を下回っている施策目標2【国際交流】と施策目標4【行財政運営】の今までの取り組みや主な課題は、下記のとおりです。

施策目標2【国際交流】	<ul style="list-style-type: none">●世界の家庭料理講座の開催、「かしわら日本語教室」の外国人を対象とした書道教室の開催、ふるさと柏原ぶどう狩りツアー及び国際野外交流会への招待、世界の家庭料理講座の開催を行っている。
施策目標4【行財政運営】	<ul style="list-style-type: none">●行政評価委員会による施策評価は平成26年度に終了し、部局の運営方針、市政モニター制度、市民意識調査の毎年実施による事業に対する評価と市民感覚の反映を行っているが、事業実施における市民意識の反映やPDCAサイクルによる事業効果の向上などは行っていない。●平成28年に発生した熊本地震の経験を踏まえ、庁舎の耐震化が未実施の市町村においては、災害発生時に業務継続に支障が生じるおそれがあることから、これらの庁舎の建替えを緊急に実施できるよう「市町村役場機能緊急保全事業」が平成29年度に創設された。本市では財政的にも有利となるこの事業を活用することとし、令和3年3月末の新庁舎完成、令和3年度内の旧本庁舎解体、駐車場整備完了を目指している。●職員のコスト意識による経費節減や適正な受益者負担への取り組みはこれまでに成果を上げてきていることから、今後は行政経営の視点を取り入れ、最小の労力で最大限の効果を発揮するなど、効率的な行政運営等を行うための意識啓発やノウハウの取得が必要となっている。●会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増や老朽化に伴う普通建設事業の増などへの対応が必要。